

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	93	事業名	公共下水道事業	担当部課	建設部下水道課
------	----	-----	---------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	2	リニモでにぎわい交流するまち	会計	5	公共下水道事業特別会計
		分野別項目	5	下水道を整え、清潔・快適・安全なまちをつくる	款	2	事業費
		施策の進め方	2	管渠整備	項	1	公共下水道事業費
	まちづくり行程表	フラッグ	—		目	1	公共下水道事業費
		政策分類	—		大事業	3	公共下水道事業
	その他(関係法令、要綱等)		下水道法、都市計画法				
事業開始の背景、経緯等		社会基盤の整備による人口増加に伴い、早急に下水道整備を行う必要から、平成2年度より、長久手市公共下水道事業に着手した。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 長久手市公共下水道事業計画区域882haを計画的に整備を行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 長久手市公共下水道事業計画区域					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 計画的に下水道を整備することにより、生活排水などによる河川などの汚れを防ぎ、清潔で快適なまちにする。					
	事業を構成する事務事業	① 公共下水道事業	拡充	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	決算	予算		349,778	392,465	356,719
決算					188,809	241,414	140,735	
人件費(B)	千円	決算		21,608	18,765	7,088		
総コスト(A)+(B)	千円	決算		210,417	260,179	147,823		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 整備率	%	目標	79.3	82.0	84.2	85.0	85.8
			実績	81.0	82.6	84.2	85.0	
	B		目標					
実績								
C		目標						
		実績						

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 長久手市公共下水道事業計画区域の面積に対する整備率を成果目標とする。

B

C

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成30年4月より地方公営企業法適用。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成29年度末の整備率は85%であり、目標を達成している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 下水道整備に伴う財源の確保が課題となる。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 汚水管渠の整備については、市街化区域の整備が概ね完了した。今後は、より多くの市民の生活環境向上のため、市街化調整区域を中心に計画的に整備を進めていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成34年度までに整備率を94%とする。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		公共下水道事業										
番号	①	事務事業名	公共下水道事業		款	2	項	1	目	1	大事業	3	中事業	1
事務事業の期間		事務事業開始年度		平成2年度			終了（予定）年度		平成35年度					

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手市公共下水道事業計画区域を対象に、汚水管渠の整備を計画的に進めていく。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 公衆衛生の向上と、公共用水域の水質保全を目的とする。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		349,778	392,465	356,719	-
		決算		188,809	241,414	140,735	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
① 公共下水道築造工事			96,960 千円				
② 取付管設置工事			34,032 千円				
③ 公共汚水ます設置工事			4,247 千円				

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
整備率	%	目標	79	82	84	85	86
		実績	81	83	84	85	
		目標					
		実績					
<備考：活動の概要（当該事業年度）> ・汚水管渠布設 2,467m ・取付管設置工事 107箇所 ・公共汚水ます設置工事 79箇所							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

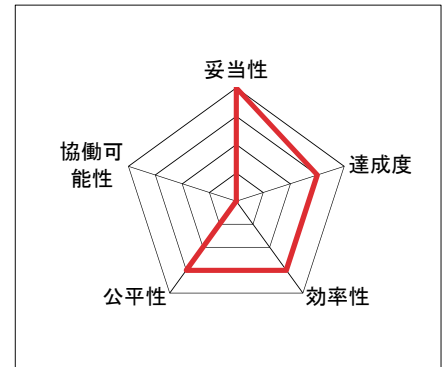
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成30年4月より地方公営企業法適用。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント> ※新規行政評価対象 (何をどのような状態に改善したのか) —
--

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	-



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) 市街化区域の整備については、区画整理事業地内を除き、概ね完了した。
--

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) なし

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 今後は、より多くの市民の生活環境向上のため、市街化調整区域を中心に計画的に整備を進めていく。
--